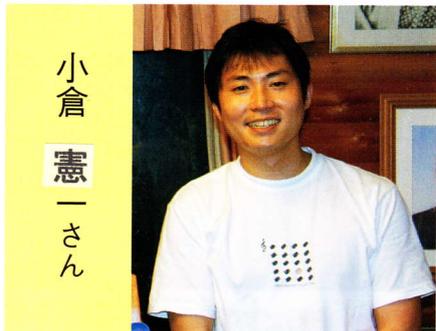


船材徹ふるさと会便り

お弟子さん紹介



小倉 憲一さん

ふるさと会の皆様方におかれましては、時下益々ご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。さて私事ではございますが、一九九九年秋に船村門下、三宅広一先生のスカウトにより、船村徹先生の内弟子として、十九歳で四国は松山より上京致しました。まずは人間教育からという船村哲学の下、日々研鑽を積んでおります。

私も船村門下生の名に恥じることなく、人間らしく、素直で自然体に「日本人が忘れてきた情緒を表現できるような歌手」を目指し、精進してまいる所存でございますので、今後とも倍旧のご支援を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

(事務局長より) 小倉さんは愛媛県から弟子入りしています。祖先はもともと武家で小倉藩主。健一さんは小倉丹後守二十代目にあたるそうです。しかし、ご本人はいたって気さく。一度話をすれば、誰でも友達になってしまうような親しみやすい性格をお持ちです。前任の走さん同様、よろしくお願いします。

ふるさと会から記念の「盆景」

船村先生が文化功労者賞を受けられた記念に、当会から盆景をお贈りしました。

この盆景は会員の斎藤源憲さん(大久保区)と直井紀茂さん(上寺島区)が丹精こめて製作したものです。梓には大小の流木が組み合わせられ、盆栽やコケを植栽して「別れの一本杉」のイメージに仕上げました。

六月二十三日(火)には仕事

場として日光市の楽想館に搬入され、船村先生からお褒めの言葉をいただいた後、玄関わきに飾られました。

搬入後は、船村先生から作者たちに、感謝の気持ちを

込めた夕食が

振舞われ、和

やかに伝達の

儀式が終了し

ました。



(左から直井さん、船村先生、斎藤さん)

総会報告

|| 今年度も多様な事業を
考えています。 ||

平成二十一年度総会を、五月三十一日(日)、船生コミュニティセンターで開催しました。

総会では平成二十年度活動報告、決算や平成二十一年度活動計画などが原案どおり承認されました。

事業については、その都度、お知らせします。